

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)および第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,657	69,655
受取手形及び売掛金	15,959	7,046
商品及び製品	1,557	1,174
仕掛品	883	1,108
原材料及び貯蔵品	258	919
ゲームソフト仕掛品	21,222	21,763
その他	3,320	2,500
貸倒引当金	△31	△26
流動資産合計	108,829	104,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,644	10,543
その他（純額）	10,202	10,112
有形固定資産合計	20,847	20,655
無形固定資産		
	351	329
投資その他の資産		
その他	13,471	12,365
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	13,438	12,332
固定資産合計	34,636	33,317
資産合計	143,466	137,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,461	1,546
電子記録債務	2,383	2,402
1年内返済予定の長期借入金	4,129	3,979
未払法人税等	5,612	2,055
賞与引当金	3,130	2,175
繰延収益	7,642	4,300
その他	9,503	8,153
流動負債合計	35,863	24,612
固定負債		
長期借入金	2,606	2,606
退職給付に係る負債	3,212	3,277
その他	2,048	2,053
固定負債合計	7,868	7,937
負債合計	43,731	32,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,329	21,329
利益剰余金	74,275	79,421
自己株式	△27,458	△27,458
株主資本合計	101,385	106,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△106	△87
為替換算調整勘定	△1,306	△1,306
退職給付に係る調整累計額	△237	△229
その他の包括利益累計額合計	△1,650	△1,623
純資産合計	99,735	104,907
負債純資産合計	143,466	137,456

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	17,938	23,722
売上原価	6,409	9,098
売上総利益	11,528	14,624
販売費及び一般管理費	3,825	3,912
営業利益	7,703	10,711
営業外収益		
受取利息	61	33
受取配当金	8	9
補助金収入	—	50
その他	73	21
営業外収益合計	143	115
営業外費用		
支払利息	18	19
支払手数料	17	17
為替差損	97	160
その他	14	10
営業外費用合計	147	207
経常利益	7,699	10,619
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	7,699	10,618
法人税、住民税及び事業税	1,707	1,868
法人税等調整額	571	935
法人税等合計	2,279	2,803
四半期純利益	5,420	7,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,420	7,815

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	5,420	7,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	18
為替換算調整勘定	△568	△0
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	△602	26
四半期包括利益	4,817	7,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,817	7,841
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,699	10,618
減価償却費	602	665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,202	△952
受取利息及び受取配当金	△70	△42
支払利息	18	19
為替差損益 (△は益)	77	31
固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	9,602	8,892
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15	△505
ゲームソフト仕掛品の増減額 (△は増加)	△3,412	△536
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,805	△1,886
その他	△147	△3,500
小計	10,349	12,800
利息及び配当金の受取額	70	55
利息の支払額	△8	△11
法人税等の支払額	△3,467	△4,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,943	8,041
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△6,989
定期預金の払戻による収入	-	5,907
有形固定資産の取得による支出	△856	△961
無形固定資産の取得による支出	△12	△29
その他	32	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△835	△2,074
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△150	△150
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,135	△2,669
その他	△114	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,400	△2,949
現金及び現金同等物に係る換算差額	△686	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,020	2,979
現金及び現金同等物の期首残高	53,004	59,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 56,025	※ 62,652

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、CAPCOM MEDIA VENTURES, INC. は、CAPCOM U. S. A., INC. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、新たに設立したCAPCOM SINGAPORE PTE. LTD. および株式会社アデリオンを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	56,025百万円	69,655百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	—百万円	△7,003百万円
現金及び現金同等物	56,025百万円	62,652百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月17日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,135	20	2019年3月31日	2019年6月18日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月17日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,668	25	2020年3月31日	2020年6月18日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,977	2,710	225	16,912	1,025	17,938	—	17,938
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,977	2,710	225	16,912	1,025	17,938	—	17,938
セグメント損益	7,733	299	133	8,166	640	8,806	△1,103	7,703

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△1,103百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,476	1,184	181	22,842	879	23,722	—	23,722
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21,476	1,184	181	22,842	879	23,722	—	23,722
セグメント損益	11,804	△554	71	11,321	511	11,832	△1,120	10,711

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△1,120百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,120百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	50円78銭	73円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,420	7,815
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	5,420	7,815
普通株式の期中平均株式数(千株)	106,751	106,750

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

競争法当局の調査等について

当社およびその子会社であるCE EUROPE LTD.、CAPCOM U.S.A., INC. (以下、カプコングループ) は2019年4月5日に、欧州委員会より、欧州におけるPCゲームの販売に関して欧州競争法違反の嫌疑に関するStatement of Objections (※異議告知書) を受領いたしました。

カプコングループは、本異議告知書の内容を精査した上で、適切に対応する所存です。

※「異議告知書」とは、欧州競争法違反の疑いに関する欧州委員会の暫定的な見解を示した文書です。「異議告知書」は調査中の文書であり、欧州委員会の最終的な決定ではありません。本文書の受領者は、反論等を含め、意見を述べる事が認められております。また、欧州委員会の最終決定については、欧州裁判所へ上訴することが可能です。